

(1) 平成22年7月11日執行

# 参議院埼玉県選出議員選挙公報

埼玉県選挙管理委員会

## 39才サラリーマンの底力

- 1 新ニッポン株式会社を設立!**  
民間の可能性を最大限に活かせるよう国がバックアップする新たなニッポンを目指します。
- 2 世界へ羽ばたく人財を育成!**  
実社会での生きるためのITスキル・英語教育・経営教育の充実と社会人再教育を促進します。
- 3 新サービス創出で雇用拡大!**  
IT産業と結びつけた新サービスを創出し、雇用の拡大をはかりニッポンの成長を実現します。



### 小林つかさプロフィール

**1970年**  
埼玉県川口市生まれ  
開成高校卒業  
慶応義塾大学卒業  
楽天株式会社 執行役員就任  
楽天イーグルス設立メンバー



小林つかさ 検索



みんなの党  
**小林つかさ**  
公認

4人家族で  
16万円の負担増  
年額

## 大企業減税の“穴うめ”に「消費税を10%に」は絶対反対です



日本共産党  
**伊藤岳**  
いとうがく

- 普天間基地は無条件撤去を
- 使いすて労働ノ一「雇用は正社員に」
- 保育園の増設で待機児童ゼロに
- 価格・所得保障で農業の再生を
- 日本の宝・中小企業に緊急支援を
- 高齢者差別の医療制度は撤廃を
- 特別養護老人ホームの待機者ゼロに
- 消費税増税ノ一、食料品を非課税に

「普天間基地は無条件撤去を」  
「大企業は社会的責任を果たせ」  
米国・財界に国民の立場でモノが言える日本共産党が伸びてこそ政治が変わります


**震源地は財界**  
民主も自民も「消費税を10%に」の大合唱！絶対にゆるしません。  
消費税増税の震源地は財界です。大企業の法人税減税のために庶民に増税。財政再建にも、社会保障の充実にもなりません。景気をいっせう冷やこませるだけです。  
埼玉の3議席。消費税増税に反対！暮らしをまもる日本共産党の伊藤岳に1議席を与えてください。

1960年生まれ、50歳。華道家、越ヶ谷高校、文政大学を卒業。民青同盟埼玉県委員長、党さいたま地区副委員長を歴任。2007年県議選、2009年衆院選に立候補。現在、党県常任委員、党国会議員団埼玉県事務所長。

埼玉ボイス 検索 www.jcp-voice.jp/saitama/

比例代表は  
**日本共産党**  
と書きまいたいでいい

伊藤岳が  
やります




無所属  
**長谷川こうせい**  
こうせい  
三十才

古い政治と決別して  
庶民の新しい政治へ  
だから無所属  
**長谷川こうせい**  
しがらみもなし  
団体癒着もなし  
組織票もなしそして無宗教

一 政治と癒着 利害と癒着の選挙にいつまでも私たちは付き合っては行けません

一 そのような古い政治と決別して新しい庶民の政治へ方向転換するしかないかの選挙です

私は公職選挙法や政治資金規正法はもろのここと医療福祉介護に重点を置く新自由主義として経済財政問題の解決を図るとともに地域主権を訴え地域のことは地域で解決できるよな社会づくりをいたします

### The Democratic Party of Japan **民主党**

#### 大野もとひろプロフィール

●埼玉県川口市生まれ 46歳。慶応大学卒業後、国際大学で修士号取得。中東諸国の日本大使館勤務、中央調査会上席研究員、複数の政府委員等を歴任。東京大学、青山学院大学、日本大学等で教鞭をとる。

●湾岸戦争時に、日本人兵隊救出に尽力。イラク戦争前、国会においてイラクに大量破壊兵器の脅威はない、開戦となればイラクの混乱は長期化するとの述べ、一石を投じた。

●企業経営者のかたわら、ボランティア活動にも積極的に関与。イラク戦争後、世界初の民間による建造物寄付の孤児院寄贈の仲介を担う。この功績を認められ、彩の国国際親善大使に任命される。

●学生時代は、アマフト、英語に没頭。趣味は音楽、読書。妻、子供3人の5人家族。大きな声で笑うので家族からしられる。ファンソンの曲に胸高まったりほろほろ涙してしまったり...

テレビ・ラジオでおなじみの  
外交・中東の  
専門家

## 問題先送りには大きな声で **Oh! No! オー!ノー!**

### 即戦力! 突破力!

本格派の  
大型新人



**大野**  
もとひろ  
46歳

- 3つの視点15のお約束
- 1 研究者としての知識と外交官としての経験を活かします!**
    - ①グローバルな視点から、日米関係とアジア諸国との関係構築を築きます。
    - ②紛争地帯への貢献として、テロリストが入れない社会の構築を支援します。
    - ③安全保障は軍事力に頼るのみならず、外交やODAを活用した包括的体制に移行します。
    - ④エネルギーと食糧の安定供給に向けて、官民の協働体制を作ります。
  - 2 命の大切さを目の当たりにした経験と、華仕活動から学んだことを実践に変えます!**
    - ⑤安心して出産できる子育て支援を推進します。
    - ⑥青少年の健全育成を支援し、教育と生きる力の育成に貢献します。
    - ⑦年金・保険を支えるために、人口減少を食い止める施策を実施します。
    - ⑧シルバー世代の経験と力を活用できる社会への移行を推進します。
    - ⑨政府を補助するNGOへの支援を拡大します。
  - 3 世界の視点と経営者の観点から、日本の特徴を活かした社会を作り上げます。**
    - ⑩社会保障拡充を通じた可処分所得拡大による安定経済モデルを提唱します。
    - ⑪環境技術を大切にし、企業の海外でのビジネス拡大を支援します。
    - ⑫将来につけ回しをする返済のあてなき借財を抑制します。
    - ⑬地方の活力を引き出し、地域主権を推進します。
    - ⑭旧公団を含めた行政改革と無駄の排除を一層進めます。
    - ⑮参議院の定数削減を提唱し、政治家がまず身を正すことから始めます。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま写真とり、印刷したものです。



